



初心を忘れず、心から丁寧な対応に努めます。



それいゆ 広報

Vol.139

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院 TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ TEL0577-34-5026
- Dr.Orishige ビオメゾン TEL0577-37-0800
- りあん・ど・それいゆ TEL0577-32-8166

新年あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年もよろしくお願い申し上げます。

人生全て塞翁が馬とか禍福は糾える縄の如しということわざがあります。我々は生きていく間に色々の災難、不運、病気などに出会います。私は今年の二月で満八十七歳になります。私はずいぶん頻度が多いような気がします。私は三十歳の時大腸がんの手術を受けました。この時代には本人にがんの告知はしていませんでしたが偶然に検査の結果ががんであることを知りました。余命は二年か三年くらいだろうという事です。大学院を卒業していよいよ人生のスタートの時です。悲しくて心の底から泣きました。何とかこの数年を全力を尽くして生きる覚悟をしました。そのための心の支えになるものを探しました。偶然三島由紀夫の書いた「葉隠れ入門」に出会いました。葉隠れは佐賀鍋島藩山本定朝により編纂された書物です。これも偶然ですが私の本籍も佐賀県です。これこそ運命の出会いとい

うべき出来事です。「武士道といふは死ぬことと見付けたり。二つ二つの場にて早く死ぬほうにかたづくばかりなり。別に子細なし。胸すわって進むなり。——毎朝毎夕、改めては死に改めては死に常住死身になりて居るときは武道に自由を得、一生越度なく、家職をし果たすべきなり」さらには「武士は、仮にも弱気の事を云ゆまじ、すまじと兼ねがねころろがくべきことなり。」など葉隠れには人生を生きていく上に珠玉の言葉にあふれています。

私は男性の平均寿命を超えましたが生きる限りの限りは世のため人のため力を尽くすつもりです。筋肉も脳も高齢になつてからでも負荷をかければそれなりに発達するところが判明してきました。昨年は年齢に応じて活動量を加減していましたが今年はずこし負荷を増やして頑張ってみようと思っております。




新年の御挨拶

医療法人同仁会
理事長 折茂謙一

介護老人保健施設それいゆ

支援相談員 石井 雅代



新年明けましておめでとございます。いつも老健それいゆをご利用いただき、ありがとうございます。日頃より、温かいご支援とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。

昨年は、能登半島地震に被災された方の避難利用があり、七月に故郷の施設へ無事に帰って行きました。それいゆでリハビリをしながら過ごしていただき、健やかにご家族と帰られたことを嬉しく思います。

また、九月より、面会等制限の緩和がされました。予約制ですが、普段会えないご家族様やご友人など多くの方が面会に訪れてくださっています。皆様には玄関より入り一階のリハビリの雰囲気を目に見ながら、エレベーターで各フロアーに上がって面会できるようになりました。お部屋の見学もできます。「会えてよかった、安心した。」と言う声も聞かれます。

住職様による法話も各フロアーで始まり、十二月には、中山中学校の生徒による交流会や合唱がありました。利用者様も施設以外の方との交流が徐々に増え、和らいだ表情や笑顔が見られるようになってきています。

今後基本的な感染症対策をしながら、スタッフ一同安全で居心地の良い場所を提供できるようサポートして参りたいと思いますので、何かありましたらお気軽にご相談ください。

本年もよろしくお願いたします。



通所リハビリテーション

リハビリ室 主任理学療法士 大坪 真二

新年明けましておめでとございます。また日頃より当施設の運営に関しましては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて現在、厚生労働省は医療と介護の連携強化を推進しており、皆様が住み慣れた地域ですっと生活できるよう支援できる体制づくりに協力していくことで、地域に貢献できる組織であることを私達は目指しております。

具体的には、入院中の方の退院前カンファレンスへ当施設の介護やリハビリの職員が積極的に参加し、ご利用者様・ご家族様の意向や治療内容を知り、当施設のスムーズな利用開始や利用中の事故予防につながるといった取り組みです。この新しい取り組みに参加して、多くの職種で情報を共有し今後の方針を検討することは、自分にはない視点や意見を聞くことができ、私にとってもご利用者様にとっても非常に有益であると感じております。また病院や施設、在宅サービスといった垣根を超えてご利用者様やご家族を支える仲間を作っていくという視点も極めて有意義です。

今後は当施設のみならず地域全体のサービス向上に向け、飛騨地域へ根差した組織として今まで以上に努力していく所存です。皆様方のご理解とご助力を引き続きよろしくお願いたします。



第35回 全国介護老人保健施設大会

令和6年11月14・15日に岐阜市の長良川国際会議場で開催された第35回全国介護老人保健施設大会に、当施設より3名が参加し、それぞれ口演発表を行った。

■作業療法士・中畑伽奈恵

「転倒・転落の発生率調査～TAIケアプランシステムにおける高齢者タイプ別比較結果～」

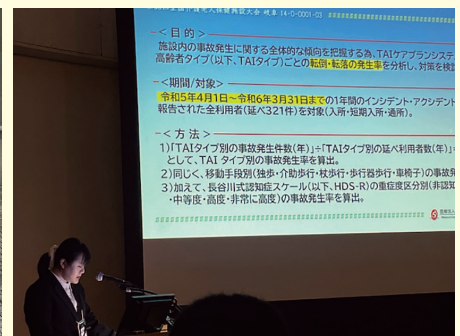
■管理栄養士・平腰朱梨

「残食量0を目指して～食事に関する要因調査結果から～」

■介護福祉士・荒井千浪

「専門的研修が排泄ケアに与える効果の量的・質的検証」

各発表は関心を持って迎えられ、活発な質問が向けられた。参加者を代表し、中畑伽奈恵さんからは「今回が初めての学会発表でしたが、無事に終わられ研究内容を伝えることができました。今後もより見識を広められるよう頑張っていきたいと思います。」との感想を得ることができました。



中山中生慰問交流



12月18日(水)中山中学校の3年生(1クラス37名)が、地域交流を目的に慰問に見え、デイケアの利用者様と交流して頂きました。お話しながら一緒に折り紙を折って台紙に貼り素敵に仕上げた後、メッセージを書き添えてプレゼントされました。皆さんとても喜ばれ感激のあまり涙される方も見えました。最後に合唱を3曲披露して下さいましたが、中山中学校校歌の指揮を同校OGの利用者様が急遽タクトを振って下さり大いに盛り上がりました。このようにふれあい交流できる機会を持って、とても感謝しております。ありがとうございました。



年末恒例 餅つき&花餅づくり



クリスマス会

～託児所の子たちからのプレゼント！～



歳時記

文化展

日頃の力作をご覧下さい



高山4Hクラブ様慰問

沢山の地場産野菜等、美味しく頂きました。



リンゴ風呂

～堤果樹園様にご協力頂きました～



永年勤続表彰

勤続二十年並びに十年を迎えた職員の特表表彰が、一月六日老健それいゆにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。心よりお祝い申し上げます。

【勤続二十年】

りあん・ど・それいゆ

介護主任 小林智子

シャロン・ど・それいゆ

管理者 牧田 功

それいゆ訪問看護ステーション

管理者 白川教子

【勤続十年】

介護老人保健施設それいゆ

介護職 坂本重樹

本部

事務職 鍛冶谷真澄



ケアプランセンターそれいゆ

介護支援専門員 荒井裕美子

新年あけましておめでとうございます。日頃はケアプランセンターの業務に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

私たちケアマネジャーは、利用者様のニーズに応じた介護保険や、保険外サービスの提案、計画をするだけでなく、ご本人やご家族の小さな困りごとに対しても、適切な方向や機関に繋げ、不安や心配事を解決へ導くことができるよう心がけています。先日、折茂医院を受診時に、生活のしづらさを訴えられていたご夫婦について、ケアマネジャーに相談をいただき、お話を伺った後に、地域包括支援センターに繋ぎ、援助をうけることができ安心されたということがありました。些細な事でもご本人、ご家族にとっては深刻な問題ということもあります。

当医療法人は、複数の事業所を運営しており、問題を抱えておられる方々と接する窓口も多く、各事業所間の連携により、適切な機関に繋ぐことができるのではないかと考えています。またそのような際には、ケアプランセンターにご相談いただければ対応させていただきます。高齢ご夫婦のみ、高齢独居の方が増加しているなか、少しでも不安が解消し、お元気になるお手伝いができればと考えています。



それいゆ訪問看護ステーション

訪問看護師 山口恵佐美

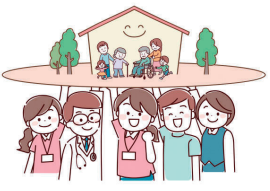
新年あけましておめでとうございます。日頃は、当事業所をご利用いただきありがとうございます。

在宅療養を支援する訪問看護の役割として、「病気や障害のある方が住み慣れた地域で、その人らしい生活が送れるようにサポートすること」とあります。

先日、訪問に伺うとお部屋から素敵な歌声が聞こえてきました。「歌うと元気になるから」と笑顔でお話しされ、一緒に歌いながらケアを行いました。訪問看護に携わり、利用者様の価値観や、思いを尊重しながら、その人が大切にしていることを理解し支援ができるように心がけています。

また、地域でその人らしく過ごすには、色々なニーズに対応できるよう、医師、ケアマネジャー、ヘルパー、行政等、多職種との連携が大切です。当事業所では地域ケア会議や病院と多職種との連携会議等に参加し、意見交換や情報共有し知識を深めることで、顔の見える関係やネットワークの構築ができ、それがサービスの質の向上に繋がっていると思います。

これからも連携を深めながら、その方に合った看護や医療ケア、リハビリテーションが提供できるよう、利用者様に寄り添い支援していきます。



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 野島尚子

新年明けましておめでとうございます。昨年は利用者様、ご家族様をはじめ他事業所様、皆様からのご利用とご理解を賜りまして、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

本年も宜しくお願いいたします。高山市の高齢者のなかで、独居又は老夫婦だけで生活されている方が多くいらっしゃいます。できる事だけをご自分たちで行い、できない事を離れて暮らすお子さんたちに頼んで手伝ってもらいながら過ごしておられるようです。

自宅で寝たきり状態の高齢者と一緒に生活されている方は、どれくらいみえるだろうか？ 在宅介護をされている方は、大変な思いをされているご家庭は多いのだろうか？ 日々考え過ぎてしまいます。そのような中で、高齢者の方で痛そうな足腰で買い物やされている姿を時々見かけ、介護認定されているのだろうか？ 一人で苦労されているんじゃないだろうか？ と心配に思う時があります。

今少しでも支援してもらえれば、もっと長く独居生活が維持できるようになると思われる方に対してのアプローチも大切なのではないかと考えております。

当事業所では、訪問し支援させていただく状況の中で、利用者様の生活が豊かになるためにどうしたらいいかを検討し、喜んでいただけるサービスの提供を行います。

ヘルパーという存在を多くの方に知っていただく活動を行い、ヘルパーステーションそれいゆが良いと言ってもらえるように、職員のスキルアップを行ってまいります。



Dr. Orihime Biozon

施設長 折茂 佑子

あけましておめでとうございます。旧年中は当施設の運営にご支援ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

令和七年三月より、ビオメゾンの三階を地域密着型特定施設（定員十七名）として開設する運びとなりました。地域に住む高齢者が出来る限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるように、職員一同支援してまいりたいと思います。五階はこれまで通り住宅型有料老人ホームとして運営してまいります。自立の方から要介護の方までどなたでもご利用いただけますので、引き続きよろしくお願いいたします。職員ひとりひとりが持てる力を十分に発揮し、ご入居者様に安全で安心して過ごしていただけるよう、同じ目標をもって進むことで信頼される施設を目指します。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



令和6年12月18日のクリスマスコンサートでは、オープンハートサクソフォンアンサンブル様が素敵な演奏を披露してくださいました。



ビオメゾン ショートステイ それいゆ

管理者 長瀬 千春

新年明けましておめでとうございます。

コロナが五類の扱いになり、世間ではそれほど取り沙汰されなくなりましたが、年末にかけ、施設や病院でコロナ・インフルエンザ等の感染者の増加により施設間の行き来が制限されました。医療・介護施設では、寒さが厳しくなる中まだまだまだ予断は許されません。自身の健康管理と利用者様への感染症予防対策の徹底に努めたいと思います。

昨年の春号でご利用者様の層が変化していることを書きましたが、要介護一・二のご利用者様が多くいらっしゃいます。体がまめに動ける方が多いため、体力が低下しないよう軽い運動になるようなことや、飽きが来ないように手先を使った季節に合わせた作品作りに取り組んでいただいています。

地域の方がいつでも利用しやすい場所、ご利用者様に「あそこなら行きたいなあ」と思っているだけ、霧囲気で安心安全に過ごせ、困った時のショートステイそれいゆであるよう邁進していく所存です。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



りあん・ど・それいゆ

管理者 阿礼 由美香



「地域に根差したサービスであり続ける為に」私たちはご利用者とご家族の方々との信頼関係の構築を大切にしています。利用開始される前に、必ず見学にいらしていただき、りあんの雰囲気を感じていただきます。そして、困っていることや、要望などをお聞きし、できることに制約はありますが、辛いところに手が届くといったところででしょうか。可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、小規模多機能型居宅介護の特徴である「通い」を中心として、短期間の「宿泊」やご自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、日常生活上の支援や機能訓練を行っていただく旨をお伝えします。利用開始となれば、情報収集を行い職員全員が情報を共有し、「居心地がいい」と思っていただけのように関わらせていただきます。職員も人間ですので、それぞれの個性や得意・不得意があります。そういう部分を補い合い、ご理解ご協力をいただきながら笑顔で元気に、そして感謝を忘れず業務にあたっています。

また、ご家族にお逢いできる時には日頃の状況の報告やこちらからの要望をお伝えしたり（時に世間話もあったり）、こういった関わりを継続していくことで、ご家族からも「ここはもつとこうしてほしいんや」等、気軽にご意見やご要望をいただける関係性の構築ができていると感じています。



シヤロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功

「地域に根差したサービス事業所を目指して」初春のお喜びを申し上げます。季節感の減少と共に、年々気候の変動が大きくなり、日々の体調管理に苦慮する毎日です。また、物価の上昇が続き生活環境も厳しさを増している中で、不安を感じる方も多いのではないのでしょうか？

シヤロンでは、地域との交流の場として三つの事業を行っています。

- ①小規模多機能型居宅介護では、二カ月に一回の運営推進会議の実施が義務となっております。地域の有識者のご意見をいただける大切な時間です。
- ②毎月第四水曜日にオレンジカフェを開催しています。認知予防のゲームや体操を行って楽しい時間を共有できる時間です。
- ③現在最も力を入れている事は、地域の方にシヤロンを知っていただくための、年四回の広報の発行とオレンジカフェの案内を通しての広報活動です。



介護不安の解消、また介護サービスを利用するにあたり気軽に相談ができる事業所を目指しております。体験利用も受け付けていますので、是非一度ご訪問下さい。今後とも、ご指導ご支援よろしくお願いいたします。



病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷美穂

新年あけましておめでとございます。コロナ禍の厳しい感染予防対策も徐々に緩和され、その影響が昨年も手足口病を始め、様々な感染症が流行しました。仕事に早めに復帰される親御さんも多くなり、〇歳・一歳のお子さんのご利用が増えました。



十二月にはインフルエンザが流行しましたが、インフルエンザは感染すると最低五日間は登園・登校できません。お休みの間に保育園で発表会があり、参加できなくてしょんぼりしたお子さんと、発表会で劇をする予定だった絵本を一緒に読みました。「メゾンドүйい」ご入居者様に以前プレゼントしていた本で、とても喜んで読んでくれました。

また、「それいゆ訪問看護ステーション」から、ご利用者様から分けていただいた飾りでクリスマスツリーも作りました。他にも毛糸やクレヨン、ビーズなど「お子さんたちに使ってあげて」といただいた物で子どもたちも色々な作品を作り、ご家族に見せるためにうれしく持ち帰っています。皆さまには日頃より子どもたちを気にかけていただき、心より感謝申し上げます。今年もプティそれいゆをよろしく申し上げます。





■新事業 令和7年3月開設予定

地域密着型特定施設入居者生活介護 **有料老人ホーム Dr.Orishige ビオメゾン**

レザミひだメディケアガーデン内にある住宅型有料老人ホーム Dr.Orishige ビオメゾンの3階部分が、今年の3月より地域密着型特定施設入居者生活介護サービスとして要介護認定を受けた方を対象に介護保険で利用できるようになります。施設ケアマネの立案する介護計画のもと施設介護サービスが受けられる点と、利用料の一部が介護保険で賄われるため自己負担額が軽減される点がこれまでとの大きな違いです。

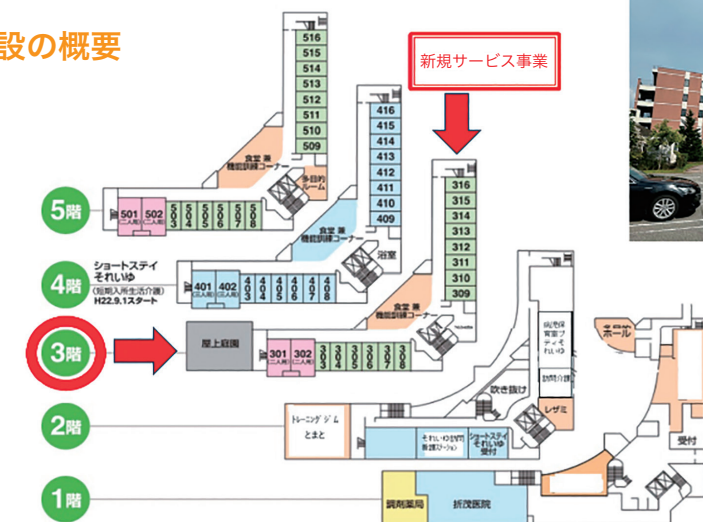
立地・環境良く、広い個室13部屋と2人室2部屋でゆったりと安心してお過ごしいただける施設入居を希望される利用者様には、是非ご利用いただきたくご相談賜りますことお待ち申し上げます。

◇利用料金 (要介護3、自己負担1割、個室の場合)

| 敷 金 | | 150,000 円 |
|-------------|---------------|-----------|
| 月 額 (個室) | 家 賃 | 50,000 円 |
| | 管理費 | 83,808 円 |
| | 食費 (3食 × 30日) | 61,590 円 |
| | 基本サービス費 | 20,550 円 |
| 計 | | 215,948 円 |

上記の他、光熱水費、日常生活費、寝具リース代、介護保険加算算定分などが別途加算されます。

◇施設の概要



①受付



②居室 (一人部屋)



③食堂兼機能訓練室



④浴室

よいお年をお過ごし下さい。

編集後記

二〇二五年がスタートしました。世界情勢は先の見えない不確実性の時代の中です。その影響もあつて、毎年、お正月には親子連れで新年の賑わいを呈していた大型店舗も、通常と変わらぬ風景だったことに、季節ごとの風情も変化してきている印象を受けました。今、世界は、製造業を中心に大きな技術革新が行われています。インダストリー4.0 (第四次産業革命) といつて、労働力不足や仕事の効率化、環境負荷の軽減をIoTやAIを活用し、課題を改善、生産性の向上に繋げていくことです。日本でも建設機械業界等で、活発に導入されています。医療・介護業界も然りです。昨年から、情報のやり取りにネットを使用することが大変多くなりました。国が義務化を指示してきたからです。省庁が違う毎に、似たようなデータを作成して提出しなければなりません。国こそ、巨大なコンピュータがあるの